

全国月間火山概況（平成 25 年 5 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火の発生はありませんでした。火山性地震は少ない状態で経過し、地殻変動観測や火山ガスの状況などに特段の変化はありませんでした。新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しており、新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

桜島では、爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しており、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

薩摩硫黄島の硫黄岳で、6 月 4 日（期間外）明け方にごく小規模な噴火が発生しました。この噴火により、4 日 09 時 50 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。硫黄岳火口から概ね 1 キロメートルの範囲では大きな噴石を飛散させる小規模な噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に警戒してください。火山周辺では、火山ガスに注意してください。

八甲田山では、2013 年 2 月以降、山頂直下を震源とする地震が散発的に発生しています。また、東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）以降、八甲田山周辺を震源とする地震はやや多い状態で経過しています。ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

6 月 9 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 6 月 9 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山(新燃岳)、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	福德岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢)、口永良部島、
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

八甲田山[噴火予報(平常)]

2013年2月以降、八甲田山山頂直下を震源とする地震が散発的に発生しています。また、東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、八甲田山周辺を震源とする地震がやや多い状態が続いています。

噴気活動にこれまでの状況と変化はありませんでした。

三宅島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2月以降はやや少量となっています。17日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり400トンで、引き続きやや少量の火山ガス放出が観測されました。三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

火山性地震は概ね少ない状態で経過しました。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

GPS連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。島の南北を挟む長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に警戒してください。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに警戒してください。

硫黄島[火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]

島西部の島西部の旧噴火口(通称:ミリオンダラーホール)では、昨年(2012年)2月上旬から水蒸気爆発が度々発生していますが、今期間、噴火の発生はありませんでした。

24日に一時的な火山性地震の増加がみられました。その他の観測データに特段の以上は認められませんでした。

国土地理院の観測によると、2013年1月頃からわずかに隆起の傾向がみられていましたが、4月からほぼ停滞しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、2012年4月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部（旧噴火口等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場[噴火警報(周辺海域)及び火山現象に関する海上警報]

12日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面に火山活動によるとみられる乳白色の変色水が湧出点付近を中心に直径約50m、そこから南へ長さ約400mの範囲に確認されました。なお、同海域に浮遊物は認められませんでした。

福徳岡ノ場ではしばしば火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒してください。

霧島山（新燃岳）[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした(最後の爆発的噴火は2011年3月1日、噴火は2011年9月7日)。噴煙活動に特段の変化はなく、火口縁を超える噴煙は認められませんでした。

火山性地震の月回数は少ない状態で経過しました。震源は主に新燃岳付近のごく浅い所に分布しました。火山性微動は2012年3月以降観測されていません。また、5月上旬と下旬には、大浪池西方の深さ4km付近に地震が発生しました。23日に実施した現地調査では、二酸化硫黄は検出されませんでした(最後に検出されたのは2012年9月26日の1日あたり10トン)。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は2011年12月以降鈍化・停滞しています。一部の基線で、2012年5月頃からわずかに縮みの傾向が見られ、同年9月頃から停滞していましたが、2013年4月頃からわずかな縮みの傾向が見られます。

21日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て上空からの観測を実施しました。火口内にとどまる程度の弱い白色の噴煙が上がっていました。火口内に蓄積された溶岩の形状や大きさは、前回(3月8日)と比較して変化は認められませんでした。溶岩上には小さな水たまりを数カ所確認しました。赤外熱映像装置による観測では、噴気がみられる部分や火口内に蓄積された溶岩の縁辺部(特に南側)を中心に高温部分が認められ、前回と比較して変化は認められませんでした。西側斜面の割れ目では、噴気は認められませんでした。

新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石(火山れき)が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、降雨時には泥流や土石流に警戒してください。

桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、活発な噴火活動が継続しました。噴火の回数は70回(4月:17回)で、そのうち爆発的噴火の回数は58回(4月:14回)と先月と比べ増加しました。7日、11日、13日、14日の爆発的噴火では、大きな噴石が3合目(昭和火口から1,300m~1,800m)まで達しました。また、30日20時20分の爆発的噴火では、ごく小規模な火砕流が昭和火口の東約700mまで流下しました。噴煙の最高高度は、8日の爆発的噴火により、火口縁上3,300mまで達しました。同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震の月回数は少ない状態で経過しました。震源は南岳直下の海拔下2~4km付近でした。噴火に伴い火山性微動が発生しました。継続時間の月合計は14時間22分で、先月(4時間41分)に比べ増加しました。

20日及び27日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり2,100~3,400トン(4月:

1,900 トン) と多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計(大隅河川国道事務所設置)では、2012年8月頃から山体が沈降する傾向が認められていましたが、2013年1月頃から停滞し、2月頃から隆起の傾向となっています。大隅河川国道事務所の有村観測坑道及び京都大学防災研究所のハルタ山観測総合坑道に設置している傾斜計及び伸縮計では、27日頃から山体の膨張と考えられるわずかな変化が認められましたが、31日頃から変化は鈍化し6月2日頃(期間外)から停滞となっています。このことから今回の山体の膨張による噴火の可能性は低くなりました。GPS連続観測では2012年10月頃から桜島島内にわずかな縮みの傾向が見られましたが、2013年1月頃から鈍化し2月頃から膨張に転じています。また、国土地理院の地殻変動観測結果によると、一部の基線では始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の膨張を示す伸びの傾向が続いています。

21日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、昭和火口から灰白色の噴煙が勢よく噴出していました。赤外熱映像装置によると、火口内には噴煙の噴出口及び噴出物に対応したと考えられる高温域(250℃以上)が認められました。昭和火口周辺の状況に特段の変化は認められませんでした。南岳山頂火口は火口内にとどまる程度の噴煙が上がっており、火口内及び火口周辺の状況に特段の変化は認められませんでした。赤外熱映像装置によると、B火口壁の熱異常域が引き続き認められました。

鹿児島地方気象台での観測では、74g/m²(降灰日数13日)の降灰を観測しました。鹿児島県が実施している降灰の観測データから推定した、火山灰の4月の総噴出量は約20万トンでした。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき)が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

薩摩硫黄島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

6月4日(期間外)に薩摩硫黄島の硫黄岳で噴火が発生しました。これに伴い、6月4日09時50分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引き上げました。

薩摩硫黄島では、5月の中旬から下旬にかけて、振幅の小さな火山性地震が一時的に増加しました。6月2日(期間外)の夜間には、高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測しました。4日に発生した噴火に伴い、振幅のごく小さい火山性微動が発生しました。三島村役場硫黄島出張所によると、硫黄岳から西南西に約3kmの地点で車のフロントガラスや周辺の植物に少量の火山灰を確認しました。また、4日に第十管区海上保安本部の協力を得て実施した上空からの観測では、雲のため火口の状況は不明でしたが、乳白色の噴煙と降灰を観測しました。4日から5日にかけて実施した現地調査や遠望観測でも、引き続き少量の降灰を確認したことから、ごく小規模な噴火が断続的に発生したものと考えられます。GPS連続観測では火山活動によると考えられる変化はみられません。また、火山性地震は少ない状態で経過しています。噴火の発生は平成16年(2004年)10月25日以来です。

硫黄岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰に注意してください。火山周辺では、火山ガスに注意してください。

諏訪之瀬島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、噴火は発生しませんでした。噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上200~400mで経過しました(最高500m)。同火口では期間を通して夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測しました。

火山性微動は2012年9月28日からほぼ連続して発生しています。火山性微動の継続時間の月合計は704時間54分(4月:677時間50分)でした。

御岳火口では、長期にわたり噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

(火山の順は活火山総覧(第4版)による)

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成25年6月9日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）
日光白根山		噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
草津白根山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替
浅間山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常）
新潟焼山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
焼岳		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
乗鞍岳		噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
御嶽山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
白山		噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
富士山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
箱根山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆東部火山群		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報 （レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報・噴火予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山(*印を除く)では平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された平成23年6月7日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山